

## 小中連携教育のこれまでの効果と今後の取組(案)

### 1 小中連携教育の目的

小学校から中学校への円滑な接続を目的に9年間を見通した「学習指導」「生活指導」を確立し、児童生徒の成長をきめ細やかな支援する。

- ・発達段階に応じた計画的・継続的な学習指導、生活指導の充実
- ・異学年の児童生徒、多くの教職員とのふれあいによる豊かな人間性、社会性の育成
- ・小学校・中学校教員が互いに学び合いことによる指導方法の改善

### 2 これまでの取組

#### (1)教育ビジョン2010に基づいた取組「幼・保・小・中学校連携プログラムの開発」

- ・体力づくり・道徳・言語活動など、テーマごとの連携プログラムを作成した。
- ・連携プログラムの実践と合わせて、人的交流や指導方法の改善策を検討した。

#### (2)教育ビジョン2015に基づいた取組「幼・小・中一貫連携プログラムの開発」

- ・区内全ての学校が中学校ブロックに分かれて、教育連携を図るためのプログラムを開発した。
- ・地域や幼児・児童・生徒の実態に応じたテーマを設定し、教員が相互に学校を訪問して授業交流や、情報交換を行った。

#### (3)教育ビジョン2019に基づいた取組「幼小中一貫教育連携プログラムの改善」

全校で小中連携教育を教育課程に位置づけ、各中学校ブロックで取り組んだ。

取組	対象	内容 [◎：校舎一体型を生かした連携の取組]
共通実践による 「9年間の 連続した学び」	教員	◎一つの職員室内で小学校教員と中学校教員が指導方法を研究する。 ・地域の課題、喫緊の課題を研究テーマに設定し実践した。 (ISS、SDGs、インクルーシブ教育、指導方法の連続性) ・学校間での授業参観、振り返りでの授業改善、情報交換を行う。 ・教員同士のオンライン打ち合わせをする。
情報交換による児童 生徒理解	教員	◎一つの職員室内で児童生徒の情報を、関係教員に聴き取り共有する。 ・一人一人の児童の学習面、行動面に関する引継ぎをする。 ・中学入学後の生徒の活躍や成長の記録を小学校に報告する。
連携授業	児童 生徒	◎中学校の行事を小学生が準備段階から見学する。 ・中学校教員が小学校で出前授業行い、中学校の雰囲気味わう。 ・部活動体験して、中学校への期待をもたせる。 ・小学生が中学校の校舎を見学し、中学校の教室で授業を体験する。
児童生徒の交流	児童 生徒	◎小学校行事(運動会など)に中学生が運営の補助をする。 ◎作品(絵画、作文など)を共有スペースに展示し互いに鑑賞する。 ・ゴミゼロデーに地域の方を交え小中合同でゴミ拾いをする。 ・夏休み中、中学生が小学生の学習指導(サマースクール)補助をする。

### 3 成果

対象	内 容
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもった学習や生活、多様な教職員、児童生徒とかかわる機会をもったことにより中学校進学への不安が軽減される。</li> <li>・身近な生活の中でモデルとなる中学生をあこがれの存在となり目標をもつ。</li> </ul>
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生との交流を通じ、上級生であることを自覚し、自尊感情が高まる。</li> <li>・異学年交流により、自分のあるべき姿をイメージし自律的な行動をとる。</li> </ul>
教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間で学力・体力を向上させる発想をもち、指導方法の工夫や改善の意欲が高まる。</li> <li>・中学校につながる子供たちを小中全教員で育てているという一体感が生じ、協力する。</li> </ul>

### 4 今後の小中連携教育の推進

池袋中・池袋本町小の校舎一体型小中連携校の成果を踏まえ、区内全中学校ブロックで推進してきた小中連携教育を、より一層拡充させるために、西巣鴨中ブロックに区内2か所目の校舎一体型小中連携校を設置する。

令和6年度改訂予定の教育ビジョンに系統的・計画的な小中連携教育の推進を位置づける。また、「小中連携教育推進検討会」を設置し、これまでの効果検証も踏まえ「小中連携教育推進方針」を策定する予定である。

今後は、「小中連携教育推進方針」に基づいて池袋中学校ブロック、西巣鴨中学校ブロック（西巣鴨中・朋有小・巣鴨小）を東西の拠点校とし、小中連携「共通プログラム」を検討する。「小中連携連絡協議会」で新たな取組の情報交換や事例の効果検証を行い、他の6中学校ブロックにノウハウを広げる。

#### (1)小中連携教育拠点ブロック

池袋中ブロック（拠点）→西池袋中ブロック、千川中ブロック、明豊中ブロック	} 2か所の「 <u>小中連携連絡協議会</u> 」を設置
西巣鴨中ブロック（拠点）→駒込中ブロック、巣鴨北中ブロック、千登世橋中ブロック	

#### (2)拠点ブロックでの取組(「共通プログラム」)のイメージ

①授業改善プログラム	学習スタンダード（学習規律）の徹底、指導方法の統一 オンラインでの師範授業
②地域の特色プログラム	「総合的な学習の時間」等の授業の題材として共通単元を位置づけ (ばらロード、駒桜、地域防災など) コミュニティスクールでの地域連携 保護者による連携地域の見守り、地域行事
③小小連携プログラム	合同学習 ・総合的な学習の時間の同一テーマでの単元設定 ・オンラインでの同時授業 ・大学連携による外国語科授業 など 合同行事（運動会、学習発表会、展覧会、移動教室など）
④不登校対策プログラム	別室登校教室の共有、不登校支援員の小中で関わり